

【研究シーズテーマ】

認知言語学を基盤にした 日英比較・対照研究と英語教育への応用

 情報学部 情報工学科 講師 **中島 亨輔**

Keyword
英語学習／英語教育／日英比較／認知言語学


【研究シーズの概要】

英語を苦手としている学生は、英語は暗記ばかりでつまらないものと考えています。そのような学生の学習意欲を高めるためには、認知言語学の考え方が極めて有効です。人間の無意識的意識が言語表現に表れているのは、如何なる言語にも通じているので、日本語と英語をうまく比較・対照することで学生の知的好奇心を活性化させることができます。(右図は指導の一例です。)

・言語には人間の効率性が表れる

【名詞 + -y = 形容詞】

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ◎ sun + -y = sunny | ◎ spice + -y = spicy |
| ◎ salt + -y = salty | ◎ luck + -y = lucky |
| ◎ dirt + -y = dirty | ◎ noise + -y = noisy |

・日本語と英語の平行性

【解雇概念表示語】(処刑のイメージ)

- ◎ 首にする ← 斬首
- ◎ fire ← 銃殺
- ◎ ax ← 斬首

【新規性・独自性・従来研究(技術)と比べての優位性】

- 認知言語学の現場英語教育への積極的導入
- 映画や楽曲など、学生が親しみやすい教材の導入
- 学習者の母語との比較・対照による学習効果の向上

【産業界での展開・用途】

- 新たな英語学習教材の開発

連絡・問合せ先

広島工業大学 研究支援機構 〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
 (事務窓口: 研究・地域連携支援部) TEL: 082-921-4222 FAX: 082-921-8963
 URL <https://www.it-hiroshima.ac.jp/for-research/office/> E-mail kyo-kiko@it-hiroshima.ac.jp